ユニバス（UCB-100）用

入浴用車椅子

UCB-100C

取 扱 説 明 書

●このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

●「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

01-208②N5

用 途

本製品は、当社浴槽『ユニバス』(UCB-100)専用の車椅子です。組み合わせて使用することで、搬送から入浴作業を安全に効率よく行うことができます。

特 長

●チルト機構を採用

チルト機構を採用し、入浴者がより安定した姿勢での入浴を実現しました。

●フットレストに長さ調節機構を追加

入浴者の体格に合わせフットレストの長さ調節ができ、より快適な座位姿勢でお使いいただけます。

●サポートマットで姿勢が安定

サポートマットを装備し、入浴者の姿勢の安定性が向上しました。

●浴槽連結時のみ分離できる安全機構

車椅子の上下分離は、浴槽に連結したときにのみ可能で、通常の車椅子操作時は分離できない構造になっています。

●機能に関わるレバー類にはオレンジ色を配色

ロックや操作に関するレバーには介助者が見て分かりやすいよう、オレンジ色を配色しました。

本書に記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

ご使用になる前に

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

表示について

危険や損害の程度を以下に区分し、表示しています。

⚠ 危険	取り扱いを誤ると、 **「死亡または重傷を負うことに至る」** ことを示しています。
⚠ 警告	取り扱いを誤ると、 **「死亡または重傷を負う可能性が想定される」** ことを示しています。
⚠ 注意	取り扱いを誤ると、 **「傷害または物的損害の発生が想定される」** ことを示しています。

絵表示の意味

🛇 禁止	行為を禁止することを示した表示です。
❗ 強制	必ず実行していただくことを示した表示です。

ご使用になる前に

車椅子上での作業

⚠警告

移乗のときは、車椅子後輪の浮きに気をつけること

座面に浅く座ると、車椅子後輪が浮き、入浴者が落下する恐れがあります。

入浴者をフットレストの上に立たせないこと

車椅子後部が浮き上がり、転倒の恐れがあります。

車椅子の連結部側から移乗させないこと

転倒やけがをする恐れがあります。

⚠注意

入浴用車椅子上での移乗・洗髪・洗身作業時の入浴者の落下に気をつけること

狭い入浴用車椅子上での移乗・洗髪・洗身作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。

車椅子との接触に気をつけること

入浴者の搬送用の車椅子からの移乗のときや、立たせた後に車いすを移動させるときに、接触で思わぬけがをする恐れがあります。

マットを着けていない状態で、入浴者を座らせないこと

可動部での挟み込みや思わぬけがをする恐れがあります。

車椅子の移動

⚠警告

車椅子を移動するときは、浴室の排水溝蓋の隙間等に気をつけること

キャスターが隙間等に挟まると、車椅子が傾いたり、転倒する恐れがあります。

⚠注意

車椅子を移動するときは、周囲に注意すること

周囲の他の入浴者や障害物にぶつかり、けがをする恐れがあります。

車椅子との接触に気をつけること

入浴者の移乗のときや、車椅子から立たせた後に車椅子を移動させるときに、車椅子との接触で思わぬけがをする恐れがあります。

車椅子移動前に上部と下部がしっかり連結されていることを確認すること

車椅子を浴槽に連結した際に急に分離する恐れがあります。

車椅子を移動させる際、介助者の足元に注意すること

車椅子のフレームにぶつける恐れがあります。

ご使用になる前に

各部の操作

⚠警告

停止しているときは、必ずキャスターをロックすること

キャスターがロックされていないと、車椅子を移動した後や移乗・洗身・清拭時などに、車椅子が動いて入浴者が落下する恐れがあります。

傾斜のきつい浴室床面やグレーチング上に停止しないこと

滑って転倒する恐れがあります。

車椅子に乗せたら、必ず手すりを握らせ、ひじを手すりの内側に入れ、安全ベルトを使用すること

・握っていないと上肢が車椅子の外側に出てけがをする恐れがあります。握れない入浴者の場合には上肢を保持するベルトなどを用いるなどして、上肢が車椅子の外側に出ないようにしてください。

・ベルトをしなかったり、ベルトをゆるめ過ぎるなど固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトの端面やバックルで擦れてけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れないこと

移乗などのためにやむを得ず外した場合、落下する恐れがありますので、とっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

⚠注意

チルト操作はゆっくりと行うこと

背当を起こすときに勢いよく持ち上げると、入浴者にショックをあたえる恐れがあります。

フットレストの調節時に指や皮膚を挟まないようにすること

入浴者が座ったまま調整する場合や、調整する介助者がけがをする恐れがあります。

痛んだ安全ベルトを使用しないこと

ほころび始めたり、切れかかってきたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。またほころびた部分で皮膚が傷つく場合がありますので注意してください。

枕の高さ調節、フットレストの長さ調節はゆっくりと行い、必ずロックを確認すること

ロックされていないと枕の高さ、フットレストの長さが急に変わり、入浴者にショックをあたえる恐れがあります。

フットレストを必ず上げてから浴槽内に入浴者を移動させること

フットレストを上げないまま入浴者を浴槽内に移動するとフットレストが浴槽に当たり事故につながります。

痛んだマットを使用しないこと

破れたり、差込凸部が損傷し固定できなくなったら、新しいものと交換してください。

ご使用になる前に／安全上のご注意

入浴剤・保湿剤

⚠注意

ミネラルオイル（流動パラフィン）が含まれた製品を使用しないでください

マットや枕に付着すると、シワが発生します。

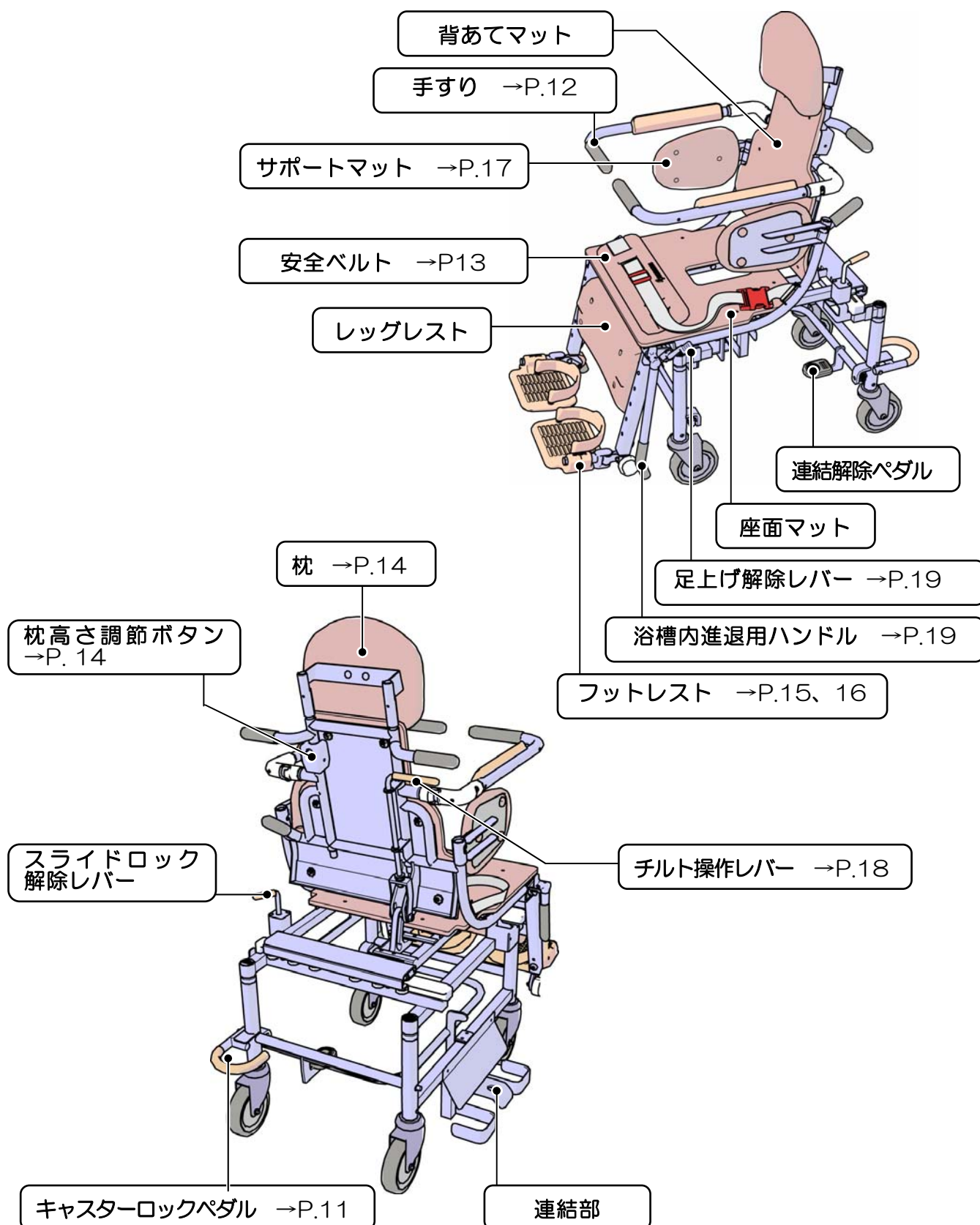
その他

⚠注意

次亜塩素酸ナトリウムを直接かけないこと

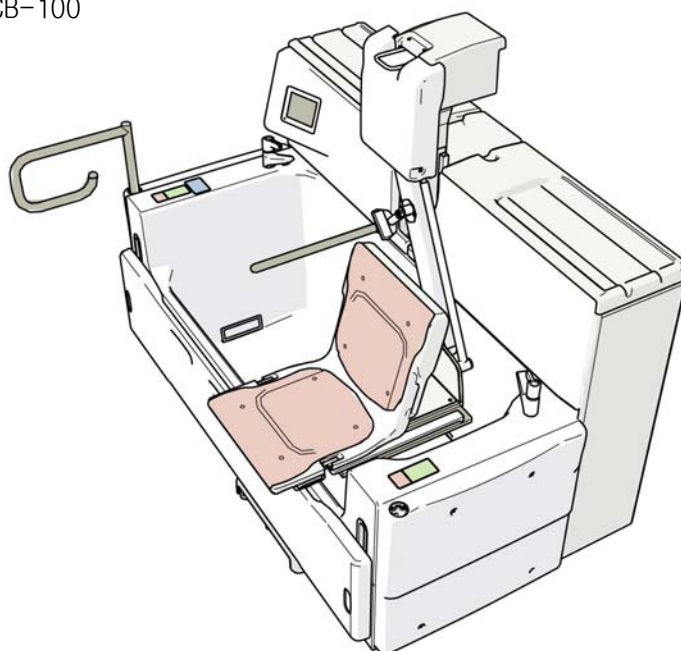
脱色、変色、破損の原因になる恐れがあります。

ご使用になる前に

各部の名称

組み合わせ

本製品は、当社浴槽『ユニバス』（UCB-100）専用の車椅子です。
必ず専用の浴槽と組み合わせてご使用ください。

周辺装置

・浴槽　　　　　　　・・・・UCB-100

操作方法については、浴槽の取扱説明書をご覧ください。

ご使用になる前に

始業点検について

ご使用前に**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。

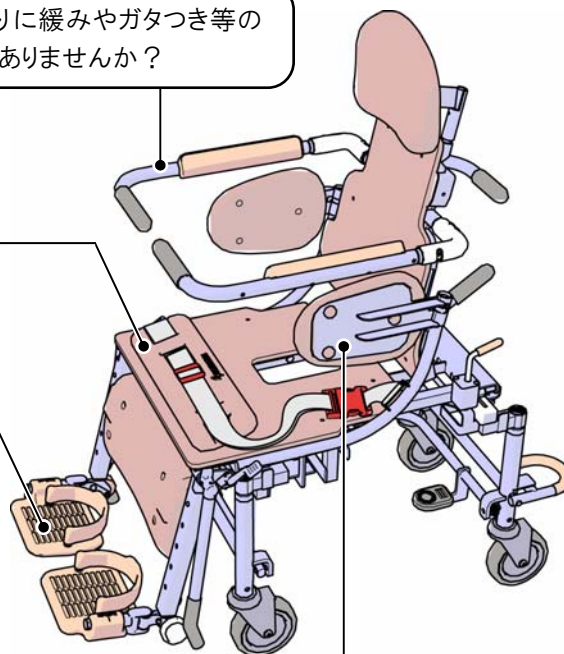
①マットの破れはありませんか？

⑦車椅子の上部は通常状態、チルト状態を保持できますか？

②安全ベルトにほつれはありませんか？

③ベルトのバックルに破損はありませんか？

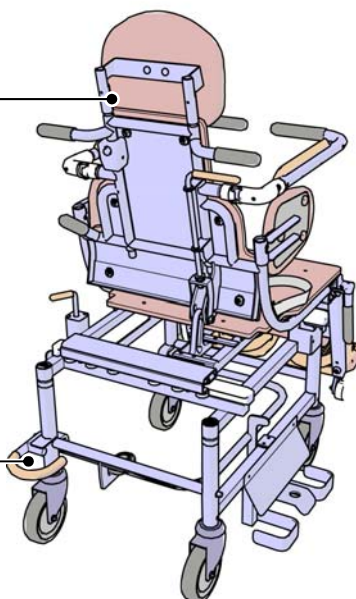
⑩フットレストに緩みやガタつき等の異常はありませんか？

⑨手すりに緩みやガタつき等の異常はありませんか？

⑪サポートマットに緩みやガタつき等の異常はありませんか？
またマットに破れはありませんか？

⑧枕に緩みやガタつきはありませんか？
また高さ調節がスムーズに行えますか？

④キャスターに緩みやガタつき等の異常はありませんか？

⑤直進･回転時にキャスターがスムーズに動きますか？

⑥キャスターロックペダルを踏み込んだ状態で、キャスターはしっかりロックされますか？

点検の際は、本ページをコピーしてご使用ください

項目	点検内容	点検方法	ﾁｪｯｸ	備考
①	マットの破れ	目視	□ OK・□ NG	
②	安全ベルトのほつれ	目視	□ OK・□ NG	
③	バックルの破損	目視	□ OK・□ NG	
④	キャスターの緩み、ガタつき、抜け出し、車輪の磨耗	目視 及び触って確認。	□ OK・□ NG	
⑤	キャスターの動き	直進、回転がスムーズに動くことを動かして確認。	□ OK・□ NG	
⑥	キャスターのロック	ロックした状態でタイヤが回転、旋回しないことを動かして確認。	□ OK・□ NG	
⑦	通常状態,チルト状態でのロック	チルト操作レバーがしっかりロックされている状態で、大きなガタつきが無いことを確認。	□ OK・□ NG	
⑧	枕の緩み・ガタつき、高さ調節	目視 及び触って確認。	□ OK・□ NG	
⑨	手すりの緩み・ガタつき	触って確認。	□ OK・□ NG	
⑩	フットレストの緩み・ガタつき	調節したときに、大きなガタつきが無いことを確認。	□ OK・□ NG	
⑪	サポートマットの緩み・ガタつき	及び触って確認。	□ OK・□ NG	

これ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。尚、故障中は故障した機器を誤って使用しないように、周囲の方が分かるように表示（故障中の貼り紙等）をお貼りください。

操作方法

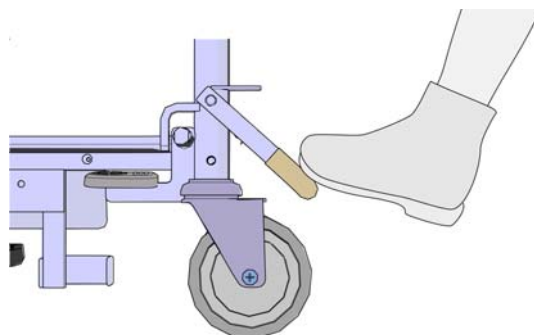
キャスター

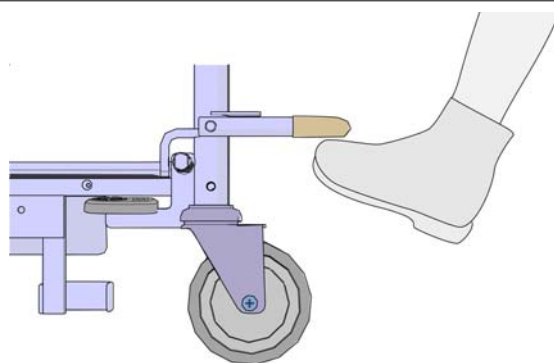
後輪にキャスターロックペダルがついています。

移乗作業、洗髪・洗身作業、清拭作業時など入浴用車椅子上で作業をするときは、車椅子が動かないようにロックしてください。

ロック

ペダルを右図のように踏み込みます。

後輪２輪が同時にロックします。

ロック解除

ペダルを右図のように足で軽く持ち上げます。

・停止しているときは、必ずキャスターをロックすること

ロックされていないと、車椅子が動いて入浴者が落下する恐れがあります。

・傾斜のきつい浴室床面やグレーチング上に停止させないこと

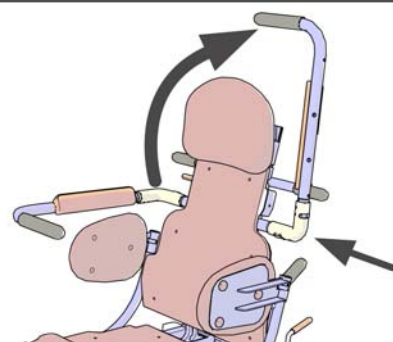
滑って転倒する恐れがあります。

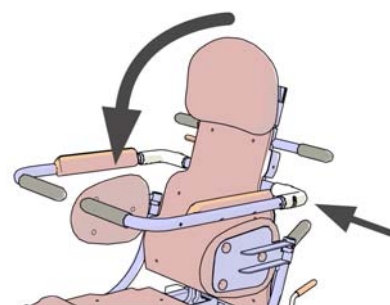
操作方法

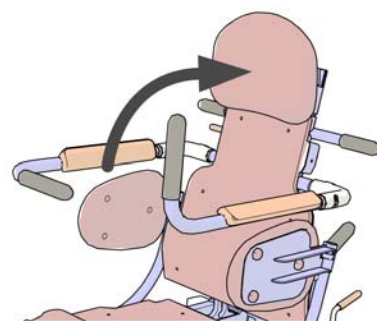
手すり

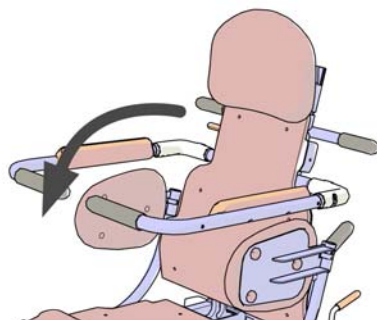
移乗などの際に、手すりやグリップが邪魔になるときには、手すりを跳ね上げたり、グリップを立てたりすることができます。

手すりを上げる

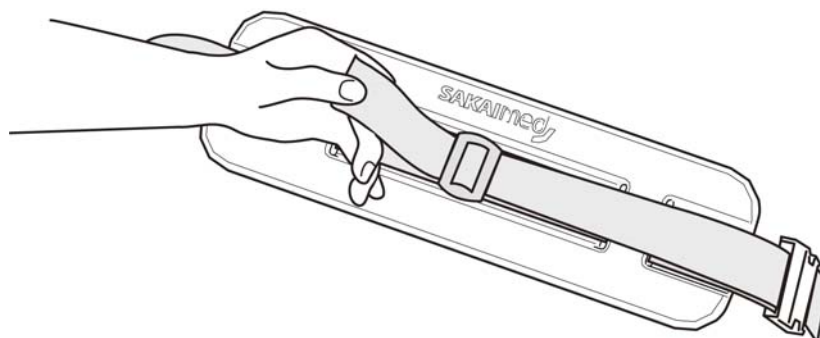
手すりの根元を押し込むとロックが解除されます。
押し込んだまま車いす上方に回転させてください。
入浴者の顔に当たりそうな場合は、下記の「グリップを立てる」操作を行い、手すりを上げてください。

手すりを下ろす

手すりの根元を押し込んだまま前方に回転させてください。

グリップを立てる

グリップを外側に回転させると、ほぼ垂直の位置でロックします。

グリップを戻す

グリップを内側に回転させるとロックがはずれ、バネの力で
元の位置に戻ります。

操作方法

安全ベルト

入浴者の姿勢安定のために安全ベルトを備えています。
車椅子へ入浴者を移乗させたらパッド付き安全ベルトのバックルをはめ、入浴者に合わせ長さを調節します。

警告

・車椅子に乗せたら必ず手すりを握らせ、ひじを手すりの内側に入れ、安全ベルトを使用する

握っていないと上肢が車椅子の外側に出てけがをする恐れがあります。握れない入浴者の場合には、上肢を保持するベルトなどを用いるなどして、上肢が車椅子の外側に出ないようにしてください。
ベルトをしなかったり、ベルトをゆるめ過ぎるなど固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトの端面やバックルで擦れてけがをする恐れがあります。

・安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

移乗などのためにやむを得ず安全ベルトを外した場合、落下する恐れがありますので、とっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを装着してください。

・皮膚の弱い入浴者の場合、接触部分にタオル等を使う

皮膚が薄くなり、弱くなっている入浴者の場合には、安全ベルトやマット等への軽微な擦れで皮膚が傷つく恐れがあります。入浴中や入浴後はさらに皮膚が柔らかくなってけがをしやすくなりますので接触部分にタオル等を巻いてください。

注意

・安全ベルトのほつれ、バックルの破損に注意すること

操作方法

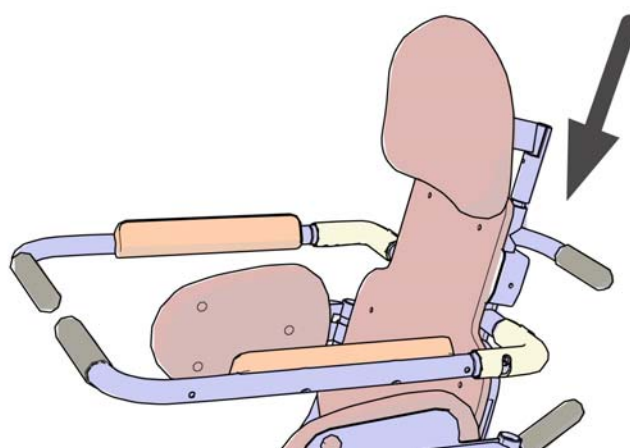
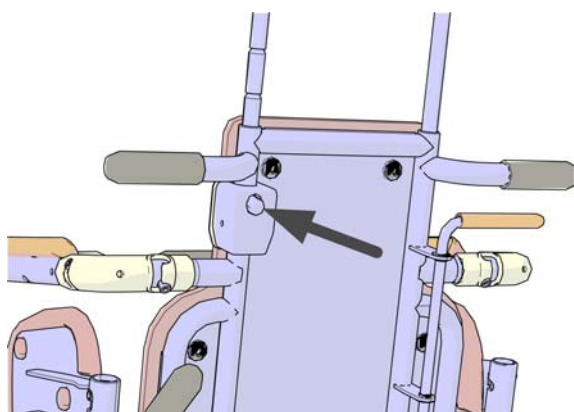
枕

入浴者の体格に合わせて枕の高さを６段階に調節できます。

枕を上げる

枕を上げるときはそのまま枕の下部を持って引き上げます。

枕を下げる

枕を下げるときは、枕を支え、背あて裏面の枕高さ調節ボタンを押しながら、枕を下げます。

 注意

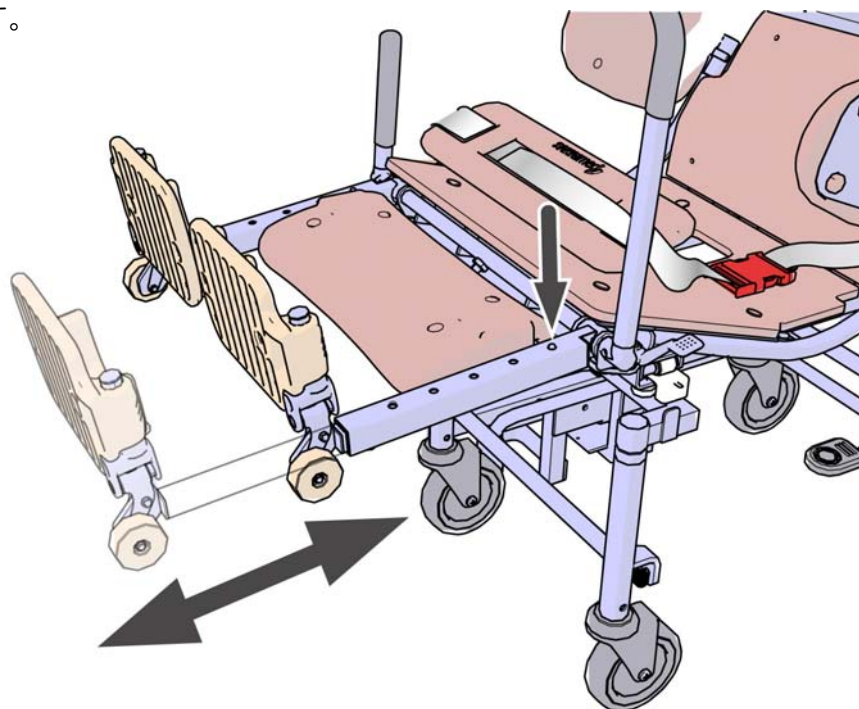
・枕の高さ調節はゆっくりと行い、必ずロックを確認すること

操作方法

フットレスト

入浴者に合せた長さ調節と、移乗時の足周りスペースを確保するために跳ね上げ・回転操作ができます。

フットレストの長さ調節

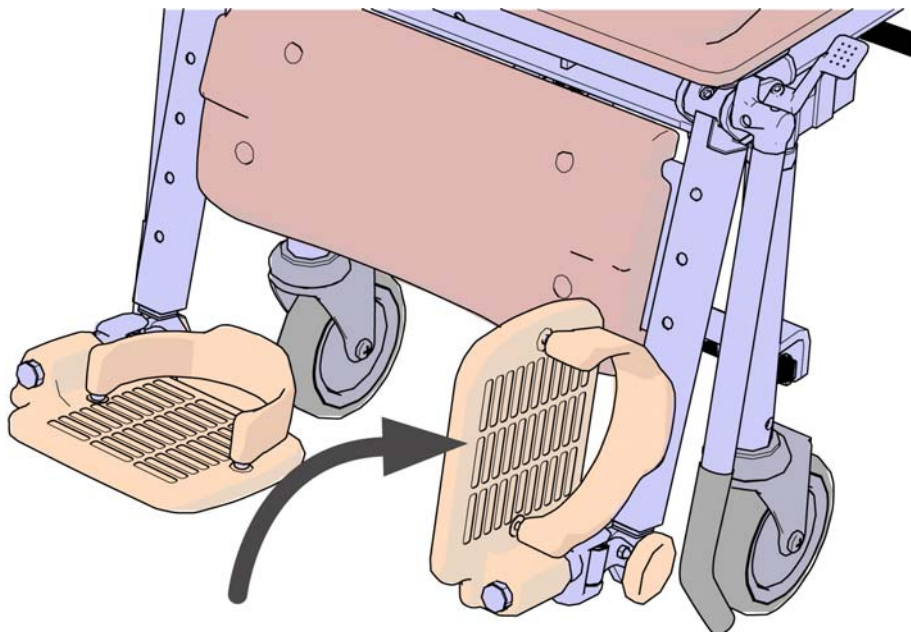
レッグレストのフレーム上側に付いているボタンを押し込み、フットレストがついているフレームを移動させます。上側のフレームに付いている穴の部分で固定でき、5 段階の長さ調節が可能です。

 注意

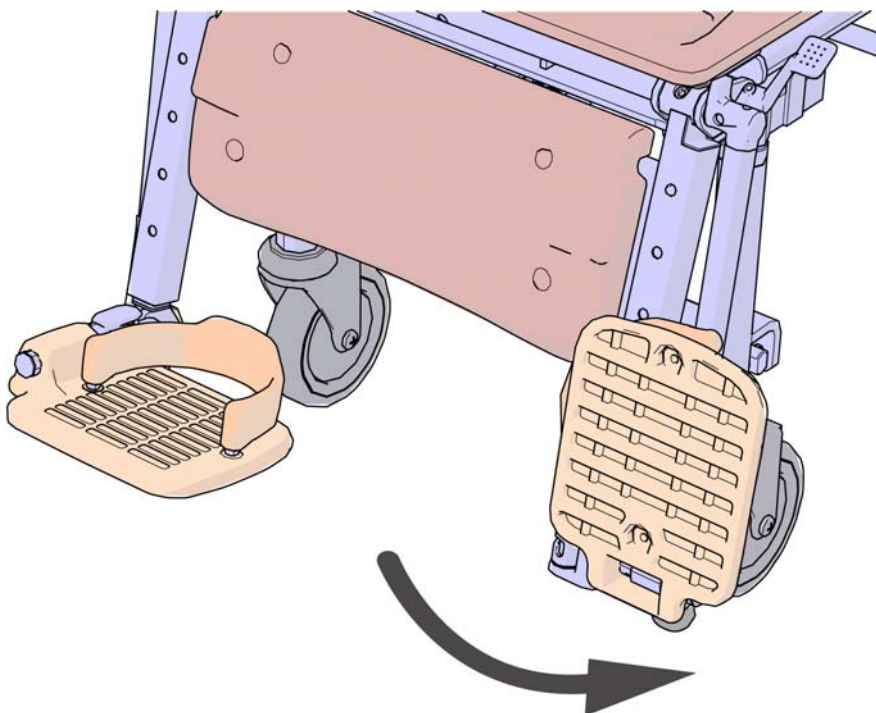
・フットレストの長さ調節はゆっくりと行い、必ずロックを確認すること

・指や皮膚を挟まないように気をつけて調節すること

操作方法

跳ね上げる

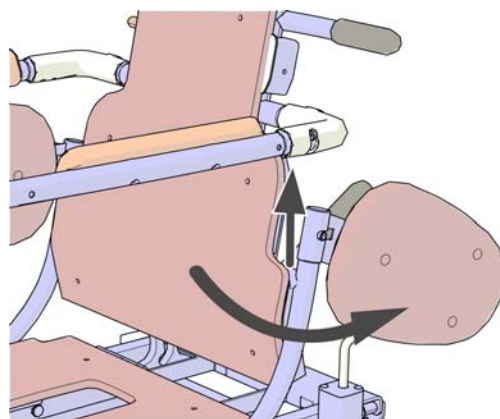
フットレストの先端を持ち、フットレストの根元を中心にして上方向に 90°回転させて、フットレストを跳ね上げます。

回転する

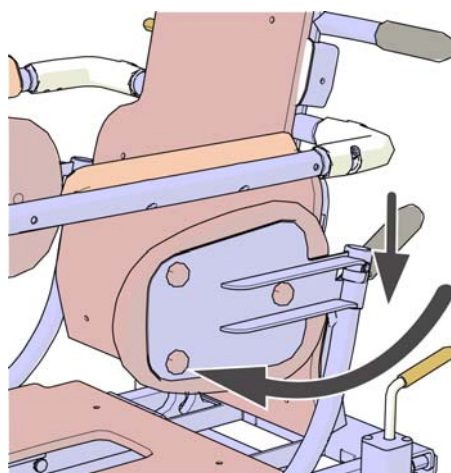
フットレストの根元を上に持ち上げて、外側に 90°回転させます。

操作方法

サポートマット

入浴者の姿勢の安定や移乗の際の落下防止のためのサポートマットです。
移乗や洗身などの際には車いす後方に回転させることもできます。

開く

サポートマットを上に持ち上げ、車いす後方に 180゜回転させます。

戻す

サポートマットを車いす後方から前方へ 180゜回転させ、戻りきった位置で下側へ押し下げてロックします。

注意

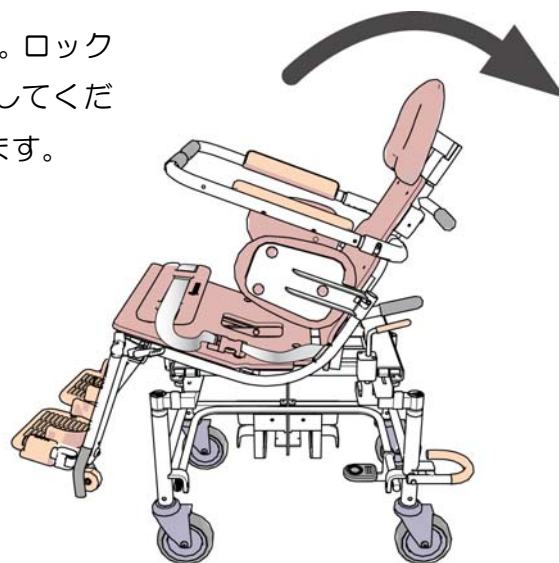
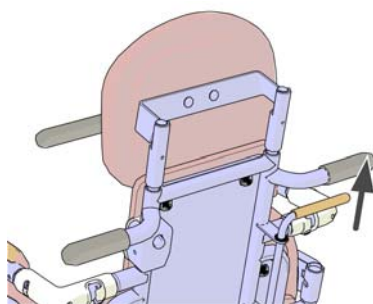
サポートマットを戻したときは、必ずロックを確認すること

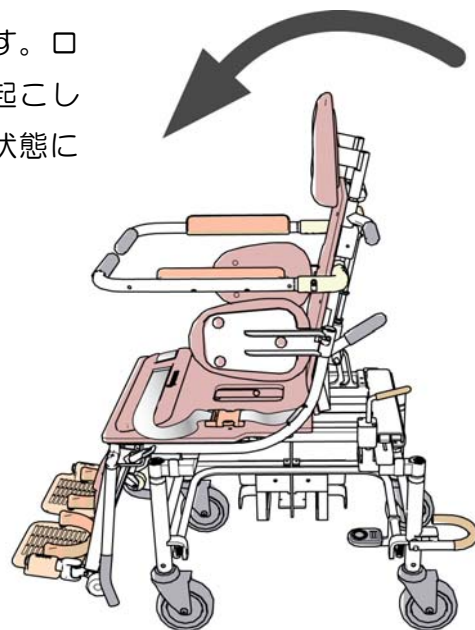
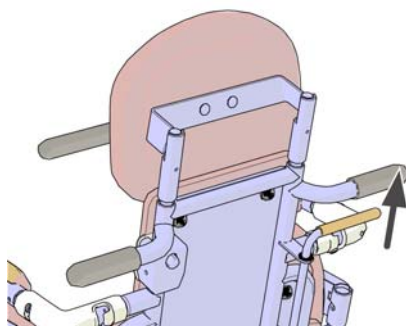
操作方法

チルト操作

車椅子をチルト状態にすることができます。また入浴はチルト状態で行います。

倒す

チルト操作レバーを引き上げるとロックが解除されます。ロックが解除されたらレバーから手を放し、ゆっくり後方に倒してください。チルト位置まで倒れたら自動でロック状態になります。

起こす

チルト操作レバーを引き上げるとロックが解除されます。ロックが解除されたらレバーから手を放し、車椅子上部を起こしてください。通常の位置まで起こされると自動でロック状態になります。

注意

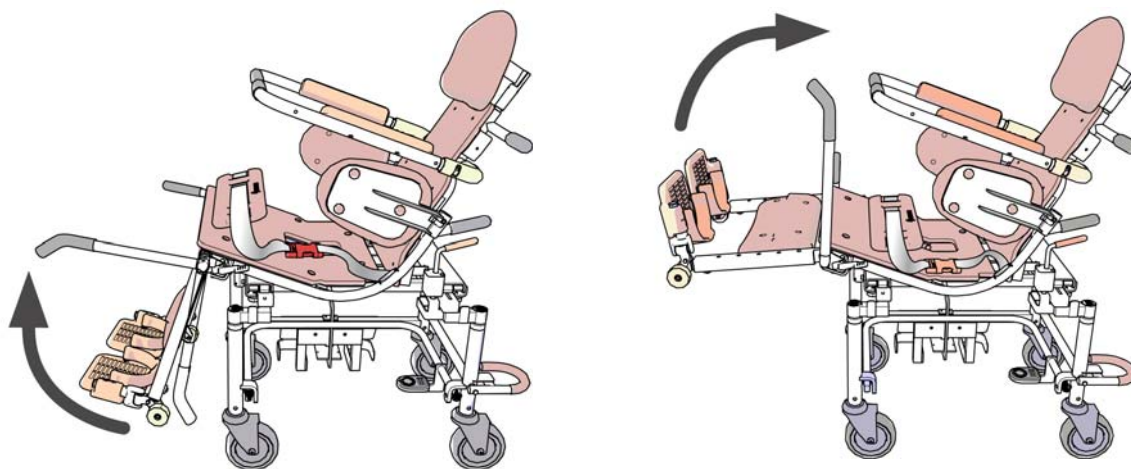
・ チルト状態や通常状態にしたら、必ずロックを確認すること

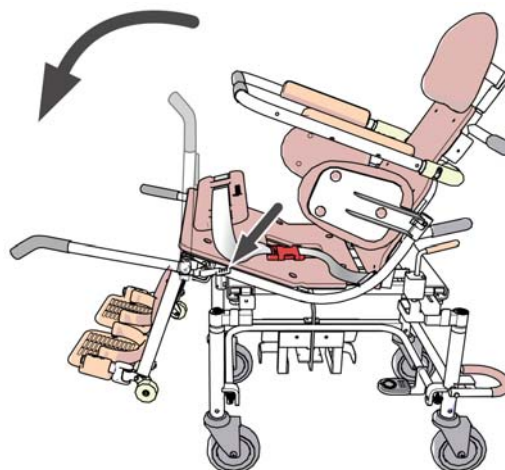
操作方法

浴槽内進退用ハンドル

車椅子のフットレストを持ち上げるためのハンドルです。

フットレストを上げる

進退用ハンドルを上方にゆっくり持ち上げてください。
フットレストも併せて持ち上がります。一定の高さでロック状態になります。

フットレストを下げる

浴槽内進退用ハンドルをやや持ち上げ気味にしながら、ハンドルの根元にある足上げ解除レバーを手前に引くように回転させロックを解除します。ロックを解除したらハンドルをゆっくり下ろすと、併せてフットレストが下がります。

 注意

・浴槽に連結する際にはフットレストを必ず持ち上げる

車椅子はフットレストを上げないままでは浴槽に送り込むことができません。
必ずフットレストを浴槽内進退用ハンドルで上げてから浴槽へ送り込んでください。

・フットレストを下げるときは浴槽内進退用ハンドルを途中で離さない

浴槽内進退用ハンドルを途中で離すとフットレストが急激に落ちて危険です。

操作方法

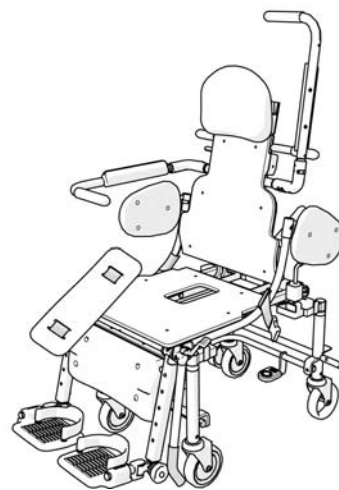
入浴者を移乗させる

車椅子に移乗させる際には、落下やけがに十分注意して操作を行ってください。

1. キャスターのロックを掛ける。

平らな床面に停止させキャスターのロックを掛けます。
またチルトしている場合は起こした状態にしてください。

2. 手すりを跳ね上げ、移乗させる。

移乗する側の手すりをはね上げ、サポートマットを開きます。移乗と反対側の手すりは、水平状態に、サポートマットは閉じたままにして入浴者の転倒・落下に注意しながら移乗作業を行います。

3. 手すりを元に戻す。

移乗後は、安全のため必ず安全ベルトを着用して、手すりを元に戻して握らせ、サポートマットを戻してください。

警告

- **車椅子の連結部側から移乗させないこと**
  転倒やけがをする恐れがあります。
- **車椅子に乗せたら、必ず手すりを握らせること**
  上肢が車椅子の外側に出て入浴時などにけがをする恐れがあります。
- **安全ベルトの長さは入浴者に合わせ、適切な長さに調節すること**
  ベルトがゆる過ぎるなど固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトの端面やバックルで擦れてけがをする恐れがあります。

操作方法

入浴時の車椅子の操作

入浴前の準備操作や入浴後の操作について、下記のような順番で行っていただくと容易に操作することができます。

入浴前の操作

1. チルトを行います。

2. フットレストの持ち上げ操作を行います。

3. フットレストの長さ調節を行います。

入浴後の操作

1. フットレストの長さ調節を行います。
   この時、長さを上から３段目までにしてください。４段目以上の場合、最後まで戻しきれず、ローラーが接地します。ローラーが接地した状態では車椅子を移動させないでください。

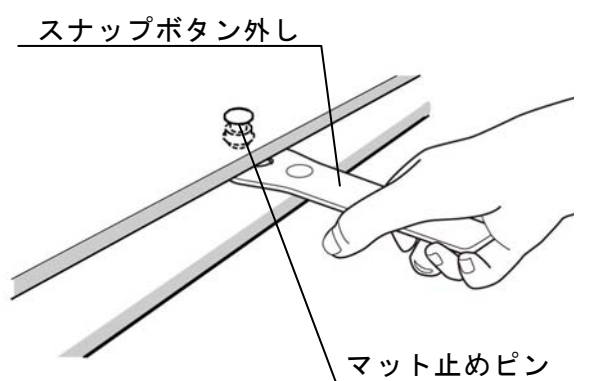
2. フットレストの持ち下げ操作を行います。

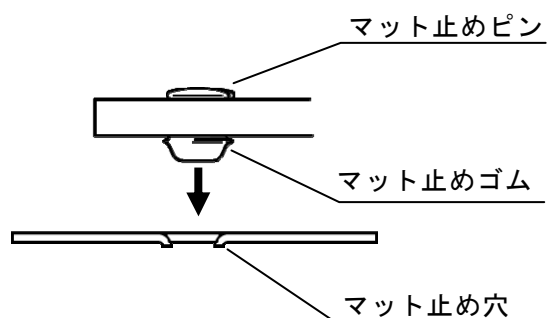
3. チルトを起こします。

日常のお手入れ

背あてマット、座面マットの着脱

外す

マットの端を軽く持ち上げ、付属のスナップボタン外しをマットの下に差し込むと
マット止めピンが外れます。

着ける

マットを背あて・座面部分に乗せて、マット止めの穴とマット固定ゴムが合っていることを確認してから、マットの表面からマット止めゴムを押して、穴にしっかり差し込みます。

⚠注意　・マットの損傷に注意すること
・入浴作業前に全てのマット止めピンが確実に取り付けられていることを確認すること

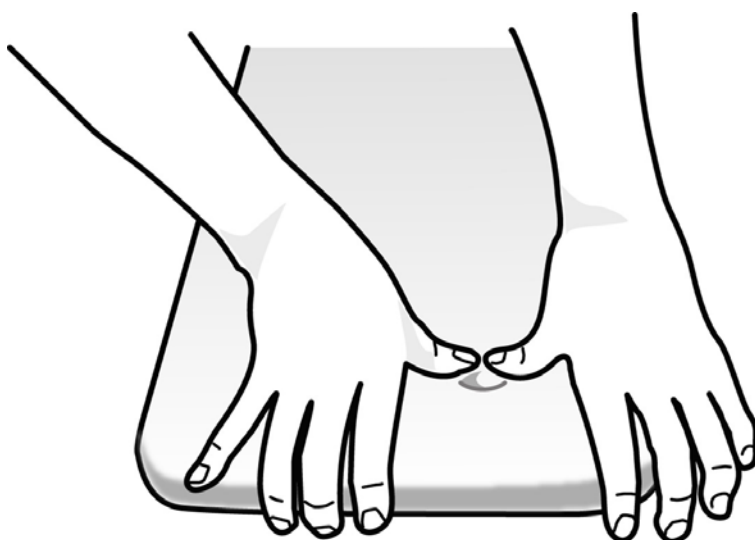
日常のお手入れ

サポートマット、レッグレストマットの着脱

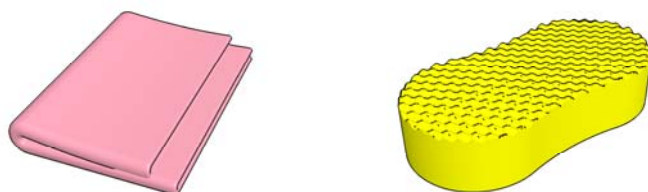
外す

マット裏の差込凸部の両側を両手で持つようにして、マット止めの穴から一つずつゆっくり外します。

着ける

マットを椅子の各部に合わせ、マット止めの穴と差込凸部が合っていることを確認してから、マットの表面から差込凸部分を押して、穴にしっかり差し込みます。

日常のお手入れ

清　掃

1. マット、ベルトを取り外し、やわらかい布、または、やわらかいスポンジに浴室用中性洗剤を含ませ、汚れを落としてください。
推奨品：酒井医療㈱「浴槽クリーナ A」

お願い
・中性洗剤をかけたまま放置しないでください。
・強くこすらないでください。キズの原因になります。

⚠注意　・タワシやブラシは使わないこと
・研磨材がついたスポンジや、ネットに包まれたスポンジは使わないこと

2. フレーム、マット、ベルトについている泡をシャワーで十分洗い流します。

⚠注意　・マットは、高温により変形する恐れあり

お願い
・泡が残っているとカビが発生しやすくなります。
・お湯で洗い流した場合、最後は水で洗い流してください。

3. 乾いた布で水滴を軽く拭き、マットは、表面に水が残らないように立てかけて、日陰干しにて乾燥させます。

⚠注意　・マットは日陰干しにて乾燥すること

お願い
・水滴を残すと水垢などが残り、くすみの原因となります。

このようなときは

まずは次の内容を確認いただき、なお異常があるときは最寄りの営業所までご連絡ください。

	このようなときは	ここを確認してください	
キャスター	キャスターが動かない	●**キャスターロックペダルが踏み込まれた状態になっていませんか？** →キャスターロックペダルを上げて、キャスターのロックを解除してください。	P.11
キャスター	キャスターがロックできない	●**異物を挟み込んでいませんか？** →異物が無いかを確認し、解消できない場合は最寄りの営業所にご連絡ください。	
キャスター	車椅子が動いてしまう	●**キャスターロックペダルが確実に踏み込まれていますか？** →キャスターロックペダルを最後まで踏み込んで、キャスターをロックしてください。	P.11
手すり	手すりが上がらない	●**手すりの根元がしっかり押されていますか？** →手すりの根元を押し込んで手すりを持ち上げてください。	P.12
サポートマット	サポートマットが固定されない	●**固定位置で根元がしっかり下に押し込まれていますか？** →根元を固定位置で下に押し込んでください。	P.17
チルト	倒せない	●**チルト操作レバーがしっかり引き上げられていますか？** →チルト操作レバーをしっかり引き上げてからチルト操作を行ってください。	P.18
チルト	ロックされない	●**異物を挟み込んでいませんか？** →異物が無いかを確認し、解消できない場合は最寄りの営業所にご連絡ください。	
チルト	起こせない	●**チルト操作レバーがしっかり引き上げられていますか？** →チルト操作レバーをしっかり引き上げてから起す操作を行ってください。 また入浴者の体重でチルト操作レバーが上がりにくくなっている場合､一度チルトを倒す方向にハンドルを倒しながらチルト操作レバーを引き上げてください。	P.18

このようなときは

	このようなときは	ここを確認してください	
フットレスト	フットレストが上がらない	**●異物を挟み込んでいませんか？** →異物が無いかを確認し、解消できない場合は最寄りの営業所にご連絡ください。	
	フットレストが下がらない	**●ロックは解除されていますか？** →入浴者の体重で解除レバーが上がりにくくなっている場合、フットレストを上げる方向に浴槽内進退用ハンドルを倒しながら解除レバーを操作してください。	P.19
	フットレストの 長さ調節ができない 固定できない	 **●レッグレストフレーム上側のボタンがしっかり押し込まれていますか？** →入浴者の体重でスライドしにくくなっている場合、チルト操作を行ってフットレストにかかる荷重を減らしてから長さ調節を行ってください。	P.15
		●異物を挟み込んでいませんか？ →異物が無いかを確認し、解消できない場合は最寄りの営業所にご連絡ください。	
連結解除ペダル	連結解除ペダルが戻らない	**●異物を挟み込んでいませんか？** →異物が無いかを確認し、解消できない場合は最寄りの営業所にご連絡ください。	P.15
マット	マットが外れてしまう	**●マット止めピンや差込凸部が穴にしっかり差し込まれていますか？** →すべてのマット止めピンを完全に差し込んでください。	P.22 P.23
		 ●マット固定ゴム、差込凸部が損傷していませんか？ →損傷している場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	

・その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。

・ご使用中万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

機器について

保守・点検について

・本製品を使用する際は､機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず P.9 の始業点検（日常点検）及び定期点検（月１回程度）を実施してください。
・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
・点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

機器について

保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書（別添）は再発行致しませんので紛失されないよう大切に保管してください。
  保証書がないと保証期間中でも有償修理とさせていただく場合があります。
- 保証期間は 1 年です。但し本体フレームは 5 年間です。保証の規定につきましては保証書をご覧ください。

修理をご依頼いただく場合

- 修理をご依頼いただく場合は、下記のことをお知らせください。
  機種名　　：　*UCB-100C*
  お買い上げ：　　年　　月　　日
  故障状況(できるだけ詳細に)
  住所，氏名，電話番号

- メーカーより指示のあるとき以外は、決してカバーを開けたり、機器を分解したりしないでください。

耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

正常な使用において

交換の目安が約２年のもの。

マット
安全ベルト
踵受け

交換の目安が約３年のもの。

キャスター
グリップのカバー部
（手すり、ハンドル、レバー）

損耗品の交換時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

保守用性能部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

機器について

仕　様

型　　式		UCB-100C
外形寸法 （L×W×H）	標準姿勢	1056×581×1148 （※フットレスト長さ・枕高さ　最小）
	チルト姿勢	1336×581×1220 （※フットレスト長さ・枕高さ　最大）
質　　量		約 50 kg
材　　質	フレーム	ステンレス
	手すり	ステンレス
	マット、枕	プラスチック（EVA、ポリエチレン）
	踵受け	合成ゴム
	フットレスト	プラスチック（ポリプロピレン）
	キャスター	ステンレス
機　　能		上下分離構造 手動チルト（水平から５８°） 高さ調節式枕（６段階） 跳ね上げ式手すり 開閉式サポートマット レッグレスト 長さ調節式フットレスト（5 段階、踵受け付） 浴槽内進退用ハンドル 安全ベルト（パッド付） キャスター （φ125mm 後輪 2 輪トータルロック）

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。